

施設づくり、まちづくりに
参加しませんか

まちと公共施設の未来をともに創造する
小千谷リビングラボ

第11回 「at！おぢや」

未来の体験を想像しよう！

開催報告

概要

この事業では、施設の整備段階から、市民のみなさんと行政が新しい施設の活用方法や地域の価値・課題などについてともに考えていく場として、小千谷リビングラボ「at！おぢや」を立ち上げ、継続的な活動を通じてオープン後の施設活用と中心市街地の活性化につなげていくことを目指しています。

第10回では、施設内に9つある様々な活動を行うことができる空間「アンカー」のうち、「展アンカー」（郷土資料館・展示室）、「和+会アンカー」（和の雰囲気が漂う多目的空間）、「趣アンカー」（屋上に立地するアナログ工作等のできる多目的空間）について、その概要をご紹介したのち、それぞれ関心のあるアンカーのプログラム（イベント）を考えるグループ対話を行いました。

実施日時 : 令和4年12月4日(日) 13時30分～16時30分

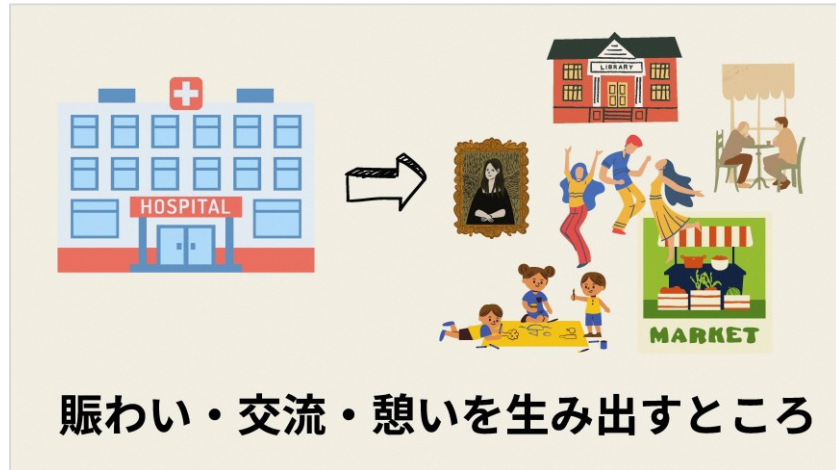
実施会場 : 総合産業会館サンプラザ 3階大ホール

参加者 : 52名

- ・一般参加者(31名)
- ・小千谷市役所職員
- ・(株)平田晃久建築設計事務所 ※設計事業者
- ・(株)国際開発コンサルタンツ(IDEC) ※設計者の協力会社
- ・アカデミック・リソース・ガイド(株)(arg) ※施設運営準備支援業務受託者

配付資料 : ・第11回小千谷リビングラボ「at！おぢや」「まちと公共施設の未来をともに創造する」
・「展アンカー、和+会アンカー、趣アンカーでのプログラムの企画をつくろう」参照資料
・実施設計資料

1. 事業についての説明：小千谷市 (13:30~13:45)

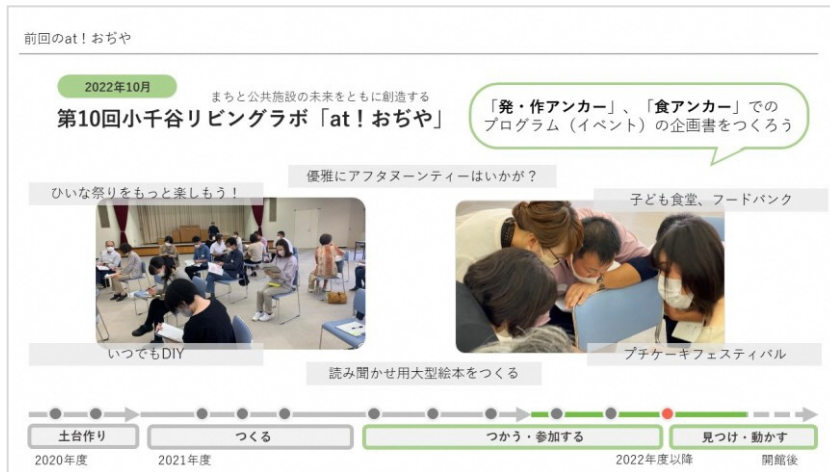


図書館等複合施設整備事業の概要について、

小千谷市職員より、図書館司書・学芸員というそれぞれの現在の立場の視点から、新しい施設に向けて、
どんな方向性で、どのようなことに取り組んでいきたいか、その想いとともにより共有しました。



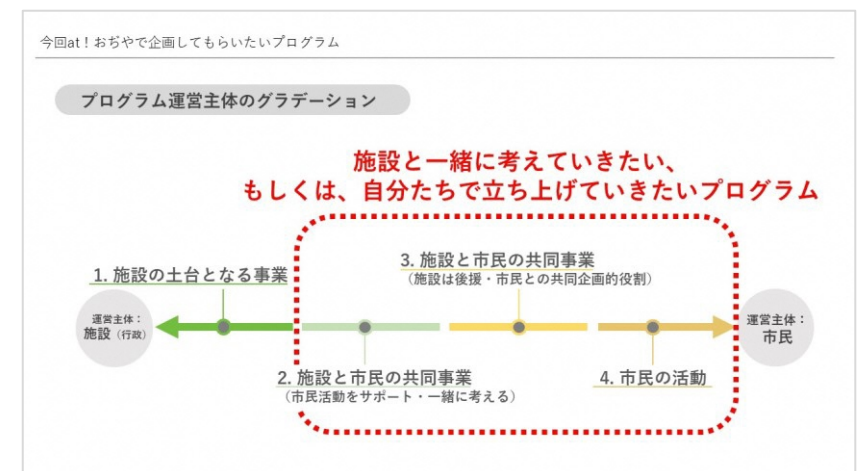
2. リビングラボについて・オリエンテーション：arg・小千谷市 (13:45~14:10)



施設運営準備支援業務受託者のアカデミック・リソース・ガイド(株) (arg) から、小千谷リビングラボ「at! おぢや」のこれまでの振り返りや現在動いている取り組みについて紹介しました。

併せて、小千谷市学芸員とargから、「展アンカー」（郷土資料館・展示室）、

「和+会アンカー」（和の雰囲気漂う多目的空間）、「趣アンカー」（屋上に立地するアナログ工作等のできる多目的空間）の概要紹介を行ったのち、グループ対話「プログラム（イベント）の企画をつくる」手順の説明を行いました。





3. グループ対話「発+作アンカー、食アンカーでのプログラムの企画書をつくろう」 (14:10~15:45)

4. 共有 (15:55-16:25)

第11回at! おぢやワークの内容

1 資料読み込み・アイディアメモ (15分)


①  オリエンテーションで説明された内容 (各アンカーの概要) について改めて資料を読み込む

②  そのアンカーを使ってどんなプログラム (イベント) を開催できると楽しいだろうか? アイディアを考えてみる

第11回at! おぢやワークの内容

2 チームビルディング (10分)


- 考えたアイデアを他の人と共有しましょう。
- 一緒に考えたいアイデアや、ぜひ参画したいアイデアを見つけて企画を練る3~5人程度のチームを作ってください。



ワークの内容

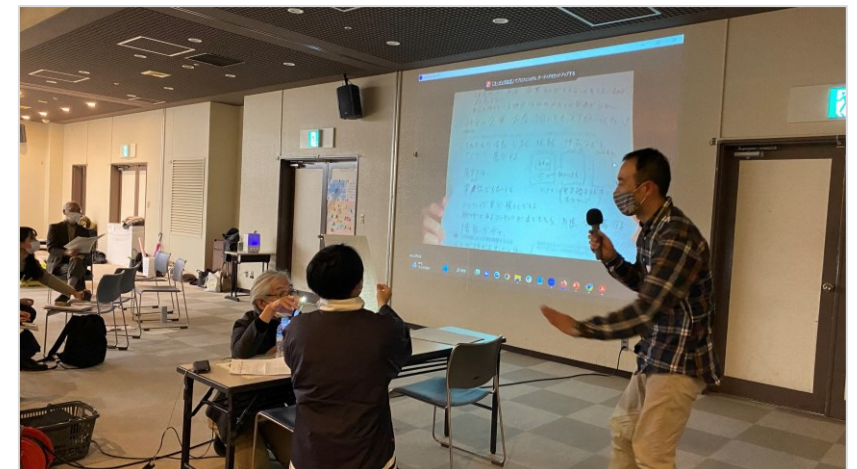
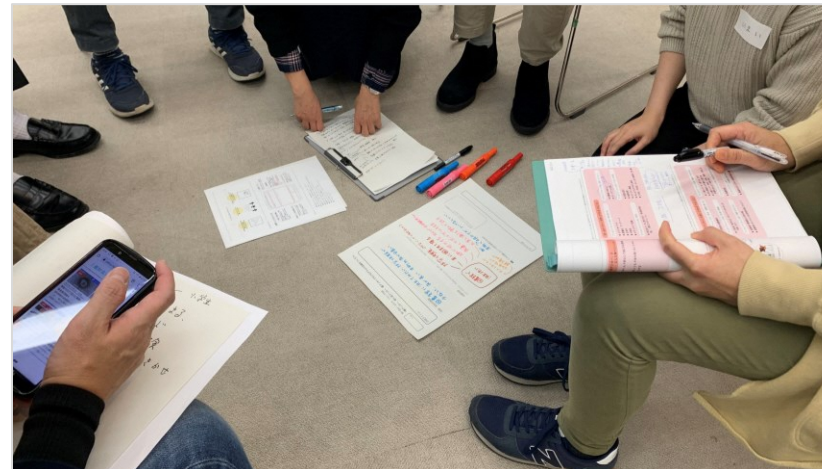
3 企画シート作成 (70分)

- チームで対話し、アイデアをブラッシュアップしながら企画シートを完成させる。



参加者のみなさんにそれぞれ

「1 資料読み込み・アイディアメモ」「2 チームビルディング」「3 企画シート作成」というステップで各アンカーのプログラム (イベント) 企画づくりに取り組んでいただきました。



今回生まれた「和+会アンカー」・「趣アンカー」の企画

「和+会アンカー」
(和の雰囲気漂う多目的空間)
の企画

〇〇〇でキャンプ

和+会 アンカー 第11回at!おぢや グループ対話
「展アンカー、和+会アンカー、趣アンカーでのプログラムの企画をつくる」

企画タイトル: **〇〇〇でキャンプ**

背景・現状の課題
図書室に泊まりたい。防災体験が少ない。夜が長い。本町の夜が日替い。

企画内容
※いつやるのか、具体的に何をやるのか(誰に何を、どうやって)、可能であればイラストなども添える。

防災体験 (防災ベッドで眠る体験)
本に囲まれて寝る
早起で何かする 花火か天体望遠鏡
夜通しでボードゲームをする
お茶(酒)を飲んで話す
本町で明かりがついてるこい。

大人と子どもで分かれていい親子参加

この企画によって何が実現するのか
本町の夜が明るくなる。
知らない人と遊べる。
非日常体験ができる。

自分たちにとってこのアンカーはどんな場所か、キャッチフレーズを付けてみよう。
インドでも楽しめるキャンプ
祭りとモコモコ障子で楽しめる
駅前の低層ビルにキャンプ

グループメンバー名 しまい、ゆこ、うさぎ、ヨコ、あさひ、こせき、ゆい、あきこ

マイ at!おぢや

和+会 アンカー 第11回at!おぢや グループ対話
「展アンカー、和+会アンカー、趣アンカーでのプログラムの企画をつくる」

企画タイトル: **マイ at!おぢや**

背景・現状の課題
交流の場がほしい。
新しい図書館でやりたいことをみんなと継続的に話したい。
at!おぢやの活動が参加者以外に伝わりづらい。
新規参加がしたい。

企画内容
※いつやるのか、具体的に何をやるのか(誰に何を、どうやって)、可能であればイラストなども添える。

at!おぢやをみんなが運営する。
定期的に集まり、自由に意見交換する。
話し合った内容を壁などに展示して共有。
誰でも参加できて見ているだけでもok。好きな時間に来る、帰るもok。

自分たちにとってこのアンカーはどんな場所か、キャッチフレーズを付けてみよう。
みんなの「やりたい!」が実現
仲間が増える。活動者
活動のPR

グループメンバー名 ひらさわ、かつみ、みさま、ひより

フリマから何かが生まれる!

趣アンカー 第11回at!おぢや グループ対話
「展アンカー、和+会アンカー、趣アンカーでのプログラムの企画をつくる」

企画タイトル: **フリマから何かが生まれる!**

背景・現状の課題
断捨離したいけど...誰が買って!
メルカリはハードル高い。
誰も(新しい人)に売らず...
昔のお宝を活用したい!!

企画内容
趣→屋上
テーマをもち継続的にフリマを開催する。
①その場で販売 ②若者がメルカリ代行
③収集物は展示コーナー(アトリエ)
ひと箱フリマで出品
中に入れる物は自由(本・服・自作の工芸品...)
売れ残ったらお宝溜り
昔のお宝活用 展示(館内) 名曲喫茶で鑑賞
古着ファッションショー→町歩き 空き店舗も町アンカー着飾

この企画によって何が実現するのか
終活が盛り上がる(若い人にも)
昔のお宝が集められる(趣味は幅広い)
世代間交流がある
いろんな世代の居場所ができる。
ニヤッてる人が増えるかも...

自分たちにとってこのアンカーはどんな場所か、キャッチフレーズを付けてみよう。
フリマから何かが生まれる

グループメンバー名 ニシザワ・タカ、79ナバ、マチダ、コイケ

研究室

趣アンカー 第11回at!おぢや グループ対話
「展アンカー、和+会アンカー、趣アンカーでのプログラムの企画をつくる」

企画タイトル: **研究室**

背景・現状の課題
新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見

企画内容
※いつやるのか、具体的に何をやるのか(誰に何を、どうやって)、可能であればイラストなども添える。

お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見

この企画によって何が実現するのか
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見
お宝の発見(メルカリ)から新しいお宝の発見

グループメンバー名 さとう、かつみ、かぶらぎ、ほろ、ほろ

「趣アンカー」
(屋上に立地するアナログ工作等のできる多目的空間)
の企画

5. まとめ・市民からの告知 (16:25~16:30)



ひいな祭り スタッフ&アイデア募集!

毎年3月ひいな祭りの頃、市内のあちこちでひな人形と絵紙(浮世絵)を飾る「ひいな祭り」というイベントを開催しています。期間中は、フォトパネルの設置や和楽器演奏、小千谷縮ファッションショーや人力車の運行など、様々な趣向も凝らしてきました。

現在、来年の開催に向けて、イベントの新しいアイデアやお手伝いいただけるスタッフを募集しています。小千谷のひいな祭りを一緒に楽しみながら、イベントを作り上げてみませんか？

本事業と新潟工科大学の連携プロジェクトが、Japan Home & Building Showにおける「学生プロジェクトデザインコンペティション2022」で「奨励賞」を受賞しました。その模様と現在の動きについて、新潟工科大学の倉知先生と学生の方から報告がありました。また、参加者の方から、自身の活動「ひいな祭りスタッフ&アイデア募集」「ほんやら、どう? ~まちを灯すほんとの出会い~」それぞれについて、告知・呼びかけが行われました。

